

令和8年度

公益財団法人日立市民科学文化財団

事業計画書

(事業計画及び事業内容)

令和8年度 公益財団法人日立市民科学文化財団 事業計画

1 経営方針

令和8年度から、財団第3次基本計画（5か年）がスタートするとともに、同年度から5年間、日立シビックセンター及び日立・多賀市民会館の指定管理者として、引き続き施設の管理運営を担うこととなりました。

この節目の年に、私たちは原点に立ち返りつつ、基本計画に掲げる基本理念『心豊かなまちづくり』を実現する財団の具現化を目指して、特に、5つの重点事項を着実に推進できるよう、職員一丸となって積極的に取り組みます。

令和8年度の主な取組としては、**重点事項1 子どもたちの創造力を育む取組**については、アウトリーチやワークショップ等の体験型プログラムや、子ども・子育て世代向けのコンサート等の充実を図ります。

また、部活動の地域展開を進める日立市と連携して、（仮称）日立市ミュージッククラブを立ち上げ、中学生の休日における吹奏楽活動の受け皿となる環境を整備します。

重点事項2 市民ニーズの多様化への取組については、「ひたち市民オペラによるまちづくりの会」の設立30周年を記念してニューイヤーオペラコンサートを開催するほか、東京フィルハーモニー交響楽団、DRUM TAO等の多彩なアーティストによる公演や、大人向けワークショップ等の様々な機会を通して、感動体験を届けます。

また、多賀市民会館が現在地への移転・リニューアルから20周年を迎えることから、ゆかりのある出演者によるコンサート等の記念事業を実施します。

重点事項3 施設を活用した交流と賑わいを創出する取組については、引き続き、ひたち国際大道芸、ひたち秋祭り、ヒタチスターライトイルミネーション等の交流事業を、ブラッシュアップを図りながら実施します。

日立駅前地区の賑わいづくりについては、市や大型商業施設「ヒタチエ」、関係機関と連携し、年間を通じた賑わい創出につながる事業を展開します。

なお、日立シビックセンターは、令和8年度から毎週月曜日が休館日となりますが、利用者に支障が生じないように、十分な広報・周知を行うとともに、より良いサービスの提供に努めます。

重点事項4 科学が身近に感じられるための科学館の取組については、科学館「サクリエ」がリニューアル5周年を迎えることから、記念イベントを実施するとともに、展示やサイエンスショーの一層の充実を図り、より身近で、愛される施設を目指します。また、天球劇場では、声優による星空朗読会を開催し、新たなプラネタリウムファンの獲得を図ります。

重点事項5 持続可能な財団運営の確立に向けた取組については、新たな視点を持った、効果的・効率的な財団運営を目指して、更なるデジタル技術導入の検討やバランスの取れた事業の組み立て、職員が能力を発揮できる組織体制づくり及び人材育成に努めます。

厳しい社会情勢や経済環境が続く中であっても、持続可能な財団運営に努め、これまでに培ってきた知恵と経験を最大限に活かしながら、科学、文化、芸術の振興と公益の増進に寄与できるよう、その責務を果たします。

2 重点事項の主な取組

【第3次基本計画（令和8年度～令和12年度）における重点事項及び施策】

（1）子どもたちの創造力を育む取組

施策：新たな発見につながる体験の場を提供

子どもたち、特に市内小中学校の児童・生徒が、気軽に科学、文化、芸術に触れ、参加できる機会を確保します。

鑑賞型事業に加え、ワークショップ等の体験型事業・育成事業を、子どもの成長段階に応じて幅広く実施することで、子どもたちの創造力を育むとともに、将来の新たな担い手の育成につなげます。



主な事業

アウトリーチ

（通年、市内小学校ほか）

市内小学校を対象としたプログラム「音楽室コンサート」、「オーケストラ鑑賞会」、「能楽体験教室」は地域の演奏家と、「科学教室」は専門家や研究者と触れ合えるプログラムとして好評を得ており、今年度は、演奏家と協力・連携してプログラム作りを行う「アウトリーチ・ラボ」を更に深化させるため、一般財団法人地域創造の「令和8年度公共ホール音楽活性化・地域人材育成事業」の支援を受け、持続的に若手演奏家の活躍の場を創出していく仕組み作りに着手します。

バギーコンサート

（通年、日立シビックセンター 多用途ホール）

ベビーカーのまま気軽に参加できる、子育て世代にやさしいコンサートです。小さな子ども連れの方が安心して楽しめるよう、プログラムの工夫に加えて、会場レイアウトや座席の設定、授乳室やおむつ替えスペースの用意等、環境整備に努めます。

はじめての劇場体験

(11月、日立市民会館 ホール)

日立市内の幼稚園・保育園児を対象に、本物の音楽や演劇に触れるとともに、公共の場所でのマナーの大切さを学ぶ機会として様々なジャンルの公演を行っています。

今年度は、NHK教育テレビ「えいごであそぼ」等に出演したエリック・ジェイコブセンのコンサートを開催します。

劇団飛行船マスクプレイミュージカル

(12月、日立市民会館 ホール)

「幼い胸に美しい夢と感動を」をモットーに、60年に渡りマスクプレイミュージカルを通して多くの子どもたちに感動を与え続けてきた劇団飛行船。幼稚園、保育園児だけでなく、入園前の幼い子どもたちも楽しめる公演となっています。今回は、日本の昔ばなし「桃太郎」を上演します。

日立市少年少女合唱団

(通年、日立市民会館ほか)

小学1年生から高校3年生までを対象に、合唱を通して音楽と協調性を学ぶ機会を提供し、子どもたちの音楽的成長と地域文化の担い手育成を図ります。また、定期演奏会「あいあいコンサート」をはじめ、多くのステージに出演し、歌うことの楽しさを市民に伝えていきます。

宇宙少年団

(通年、日立シビックセンター 会議室ほか)

宇宙の魅力を伝える様々な活動を通じて、団員が宇宙や科学、天文学に対する関心を深め、将来的に宇宙飛行士、科学の研究者や技術者等の多様な進路を目指すきっかけとなる活動を行います。

令和8年度は発足35周年を迎えるため、宇宙飛行士からのメッセージビデオの上映などの記念イベントを実施します。

【新】(仮称)日立市ミュージッククラブ

(10月～3月、日立市教育会館ほか)

部活動の地域展開に関連して、中高生に楽器を演奏する場を提供する支援事業を行ってきましたが、更に充実した音楽活動を行うための場づくりとして、市と連携し、定期的に活動するクラブを発足します。吹奏楽に親しむ中学生が学校の枠を越えて楽しく合奏に取り組めるよう、地域の指導者と協力しながら運営していきます。

施設利用率・利便性の向上に関する取組

日立シビックセンターの休憩場所や授乳室等の運用、使用済みおむつの回収を継続して実施します。夏季において新都市広場での噴水の稼働やテントの設置を行い、子どもたちや子育て世代がより快適に楽しむことができる環境を整備・維持します。

(2) 市民ニーズの多様化への取組

施策：幅広いジャンルの文化、芸術事業の提供

国内外の質の高い文化芸術に触れ、価値のある体験を提供する事業や、著名な出演者を起用したコンサート、注目度が高まりつつある事業や創造性に富んだ事業など、バランスの取れた事業展開を行います。

事業ごとにアンケート調査を実施し、日時、内容、料金設定、チケットの入手方法などの項目について満足度を測り、分析結果を事業に反映します。実施にあたっては、調査方法と分析方法を統一するとともに、回収率向上のための工夫を行います。



主な事業

ひたち市民オペラ 30周年記念公演 ニューイヤーオペラコンサート

(1月、日立シビックセンター 音楽ホール)

令和8年度に、「ひたち市民オペラによるまちづくりの会」が発足30周年を迎えることを記念したコンサートを開催し、アニバーサリーと新年を華やかに祝います。オペラの名曲のみならず、日立市オリジナル創作オペラ「水の声」からも選曲する「ひたち市民オペラ」ならではのコンサートです。

東京フィルハーモニー交響楽団演奏会

(6月、日立シビックセンター 音楽ホール)

日本を代表するオーケストラによるコンサートです。

グリーグ作曲「ペール・ギュント組曲」(抜粋)では、テレビ番組のナレーターでもお馴染みの俳優・石丸謙二郎氏によるお話を交えることで、音楽が描く場面がさらに鮮明に浮かび上がり、観客を物語の旅へと誘います。

DRUM TAO 公演

(10月、日立市民会館 ホール)

和太鼓を中心とした迫力ある演奏と洗練された舞台演出により、幅広い世代に感動を提供している和太鼓エンターテインメント集団による公演です。国内外で高い評価を得ており、日立では7年ぶりの公演となります。

声優星空朗読会

(6月、日立シビックセンター 天球劇場)

市民からの要望が高い「声優星空朗読会」を開催します。普段は星や宇宙にあまり興味を持たない若者層を主な対象として、プラネタリウムへの来館機会を創出し、リピーターの獲得につなげます。

トリオ・リベルタコンサート

(2月、日立シビックセンター 音楽ホール)

日本で「最もチケットが取れないヴァイオリニスト」と称される石田泰尚を中心にした3人の演奏家によるコンサートを実施します。多彩な音色が響き合う魅力あふれるアンサンブル、心躍るリズムと温かなハーモニーで、聴く人に感動の音楽体験を届けます。

#CivicFirstNote

(9月、日立シビックセンター 多用途ホール)

音楽に関心が高い働き盛り世代をターゲットに注目されているアーティストを紹介する、来場者から好評のライブ企画です。

特撰落語会 三遊亭小遊三・桂宮治二人会

(4月、日立市民会館 ホール)

確かな話芸と親しみやすい語り口で人気を集める噺家二人による公演です。笑いを通じて日本の伝統話芸である落語の魅力をわかりやすく伝え、初めて鑑賞する方から愛好者まで幅広い世代が楽しめる内容となっています。

Civic Gallery 企画展

(2月、日立シビックセンター ギャラリー)

茨城県在住の陶作家・宮本果林氏と静岡県在住の織物作家・新村和泉氏による二人展を開催します。全国にもファンが多い宮本氏の動物をモチーフにした作品に、新村氏の織作品が空間を演出する形で加わり、ギャラリーを彩ります。

各作家の特徴を活かしたワークショップも開催します。

大人のためのダンスワークショップ

(6～11月、日立シビックセンター スタジオほか)

ダンスに興味・関心のある市民を対象に、気軽にダンスを体験できる全5回のワークショップを実施します。初心者でも参加しやすい内容とし、ワークショップの成果を「ヒタチスターライトイルミネーション点灯式」で披露します。

施設利用率・利便性の向上に関する取組

リモートワークや学習、食事など様々なニーズで利用でき、市民の好評を得ている日立シビックセンター1階のフリースペースを引き続き運用します。通常の運用に加えて、ひたちこども芸術祭や日立市女性若者支援課の恋活応援事業等、各種事業の実施会場としての活用も図ります。

(3) 施設を活用した交流と賑わいを創出する取組

施策：多くの人が集い、賑わう魅力ある場所づくり

各施設では、利用者数・利用率の向上を図るため、利用者の多様なニーズに柔軟に対応しながら、利用しやすい環境を整備します。

各施設の特色を生かしながら継続して魅力的な交流事業等を実施するとともに、日立シビックセンターにおいてはヒタチエや関係機関との連携を図ることで、文化芸術を通じた交流人口の拡大や中心市街地における賑わい創出に努めます。



主な事業

ひたち国際大道芸 2026

(5月、JR 日立駅前及び常陸多賀駅前周辺)

国内外で活躍する大道芸アーティストを迎え、国際色豊かなフェスティバルを開催します。地元商店街や学校等との連携により、地域一体となった、持続可能な文化イベントを目指します。

ひたち秋祭り

(10月、日立シビックセンター 新都市広場)

ふるさと日立大使・上妻宏光氏監修のもと、全国の郷土芸能団体や日本の伝統音楽を担うプロのアーティスト、市内の保育園児や中学生をはじめとした市民が出演する多彩なステージプログラムを実施します。迫力の舞台に加え、「日本の文化・芸能・食の祭典」を祭りのコンセプトに、市民の協力による飲食イベントや文化体験のワークショップも実施します。

ヒタチスターライトイルミネーション 2026

新都市広場冬季活用事業

(11～1月、日立シビックセンター 新都市広場ほか)

日立市の冬の風物詩として、日立駅前地区周辺の彩りと賑わいを創出します。イルミネーションの鑑賞だけでなく、市民が参加できる企画を提供するとともに、環境に配慮したイルミネーションを目指します。

多賀市民会館開館 20 周年記念事業

京太郎と晴彦 Special LIVE

(調整中、多賀市民会館 ホール)

多賀市民会館のリニューアル 20 周年を記念して、多賀市民会館になじみの深いギターボーカルデュオ「京太郎と晴彦」のコンサートを開催します。ゲストにアーティスト・KEN EBISAWA を招き、幅広い世代が楽しめる、温かみのある音楽と親しみやすいステージを提供します。

多賀市民プラザ広場活用事業

(7～8月、多賀市民プラザ広場)

多賀市民プラザを中心とした常陸多賀駅前周辺の賑わいを創出する事業です。地域資源である「竹」を活用して、夏の広場周辺に涼を感じられる空間を創り出します。

青少年のための科学の祭典・日立大会

(11月、日立シビックセンター マーブルホールほか)

科学の魅力を体験できる機会を提供するため、科学実験やものづくりが体験できる 50 以上のブースが出展するイベントを実施します。また、科学研究作品展として、夏休み自由研究の市内優秀作品の展示とプレゼンテーションを同時開催します。

管理施設賑わい創出事業

(通年、日立シビックセンター 新都市広場ほか)

大型商業施設「ヒタチエ」と連携して、年間を通して新都市広場周辺に賑わいをもたらすイベントを誘致し、実施団体等を支援します。あわせて、日立駅前地区活性化委員会と連携し、賑わいづくりに取り組みます。

レッツ・プラス in パティオ

(5月、日立シビックセンター 新都市広場)

中学生から社会人まで 100 人を超える吹奏楽愛好家で編成された“一日限りの吹奏楽団”が、迫力あるサウンドを奏でる屋外吹奏楽コンサートを開催します。

ゴールデンウィーク中の音楽恒例イベントとして長年続いており、家族連れや、吹奏楽を知らない方でも楽しむことができる内容となっています。

施設利用率・利便性の向上に関する取組

利用者からの様々な相談に応じ、より上質なサービスを提供する施設利用コーディネーター(※)は、施設の利用を促進するため、サービス内容の更なる改善や新たなサービスの提供に取り組みます。

また、多様な活動の拠点として施設を積極的かつ安全・安心に利用できるよう、施設や設備の改善に努めるとともに、施設の新たな活用方法を検討します。

※…施設利用において、一定以上の知識と技術を習得し、財団内で認定を受けた職員

(4) 科学が身近に感じられるための科学館の取組

施策：遊びながら学ぶ科学館

展示やサイエンスショー、スタッフとのコミュニケーションを通して、来館者が科学の原理や楽しさに触れる機会を提供します。

大学や企業など科学・天文に関する専門的な知識を持つ団体や市民と連携・協働した様々な事業の実施を通して、施設の魅力を高めます。

広域的な情報発信を行い、幅広いエリアからの集客誘致に努め、入館者数増を図ります。



主な事業

サクリエ・サイエンス・フェスティバル

(3月、日立シビックセンター 科学館)

サイエンスショー等の従来の見学型コンテンツを、参加者が実験に参加できる体験型のイベントとすることで、普段は体験できない内容を提供し、科学に興味をもってもらう機会とします。

また、高校生・大学生、連携団体が運営するブースを設置し、活動発表の場を提供します。

夏の特別イベント「錯覚」

(7～8月、日立シビックセンター 科学館)

人間の視覚の不思議を体験する「トリックアート」の特別展示を開催します。目の錯覚を利用して絵を立体に見せたり、見る角度によって印象を変えたりする体験型アートの展示です。また、茨城大学工学部と協力して、大学の研究内容をテーマにした展示物の設置も行います。

冬の特別イベント「空・宙」

(11～1月、日立シビックセンター 科学館)

地球の「空」から「宇宙(宙)」までを扱った特別展示を開催します。雲や虹等の気象に関する展示のほか、星空写真家・東山正宜氏、気象学者・荒木健太郎氏等の撮影による美しい星空や雲等の写真展示も行います。

科学体験事業

(通年、日立シビックセンター 科学館ほか)

小学生親子を対象に、科学への興味を持つきっかけとなるよう、科学の専門家を講師に招いて普段は体験できない様々な実験・工作等の実体験を伴う体験事業を実施します。令和8年度はソーラークッカーやミニプラネタリウム製作を予定しています。

サイエンスショー

(通年、日立シビックセンター 科学館)

「シャボン玉」や「大気圧」等、日常生活の中にある様々な身近な現象を題材に、楽しみながら科学を学べる実験ショーを毎日実施します。

4月の科学館リニューアル5周年記念イベントでは、特別サイエンスショーを実施します。

天球劇場星空解説・番組上映

(通年、日立シビックセンター 天球劇場)

約1,500万個の恒星を映し出す光学式プラネタリウムと宇宙シミュレーションソフトを使って星空と宇宙の解説を行います。美しい星空と壮大な宇宙の魅力を伝え、本物の星空を見上げるきっかけづくりを行います。

また、子どもから大人まで、幅広い世代が楽しめる様々なプラネタリウム映像番組を上映するとともに、幼児向け、大人向けなど対象を明確にした特別上映を行います。

ボランティア活動事業

(通年、日立シビックセンター 科学館ほか)

科学館の事業の推進と市民の生涯学習に資するため、ボランティア活動の希望者に、シビック・サイエンス・スタッフとして活動の場を提供します。

サイエンス・スタッフは、来館者にとって科学が身近な存在となるよう、各自が得意とする知識・スキルを発信する活動を行います。

施設利用者及び入館者増加促進に関する取組

団体との連携

日立市内を中心とした中学校・高校・大学等の教育機関や企業・研究機関等と連携します。茨城大学工学部との連携では、研究室で行われている研究内容を体験できるオープンラボ等、活動発表やイベントを実施することで入館者への新たなプログラムの提供や施設の有効活用を図ります。

入館促進

日立市だけでなく、茨城県内や福島県を含む広域の児童クラブ、幼稚園、保育園、小学校などを対象とした来館誘致に取り組みます。

多くの方の入館促進を図るため、引き続き近隣観光・宿泊施設、市内全交流センターへのリーフレットボックスの設置を行います。

また、地域ケーブルテレビやFMラジオ、インターネット配信サイト等にも職員が出演し魅力を伝えることで、科学館・天球劇場来館のきっかけ作りに努めます。

(5) 持続可能な財団運営の確立に向けた取組

施策：新たな視点を持った、効果的・効率的な財団運営

更なるデジタル技術の導入を通して、業務効率化を図ります。
収支バランスがとれた事業の組立てを行うとともに、選択と集中による事業整理を行い、併せて事業収入、助成金、協賛金等の収入増を図り、財源の確保に努めます。
人材育成計画に基づき、職員の育成を図ります。



主な事業

組織体制

新しい基本計画に基づき事業を展開するに当たり、事業の点検・見直しを行い、選択と集中によるバランスの取れた事業の組み立てを行います。

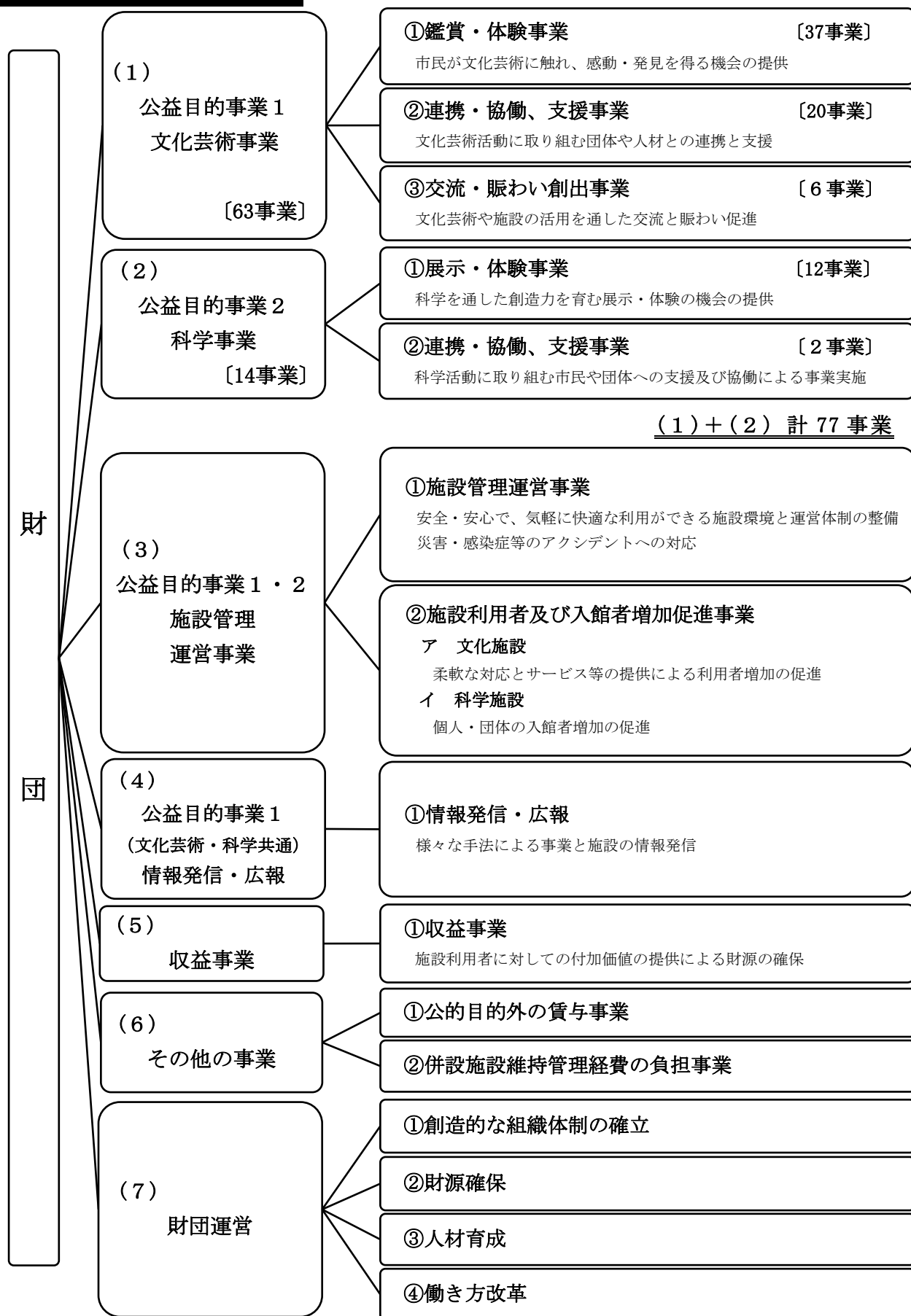
また、デジタル技術の導入による業務効率化を図るとともに、職員の適正な配置・処遇にも努め、職員一人一人が個々の能力を十分に発揮できるような組織体制づくりを行います。

人材育成

科学、文化、芸術の振興を担う財団として取り組むべき事業の将来像を見据え、ニーズを把握するとともに、業務遂行に必要な能力を高める研修や、専門家による実践的な研修等を実施します。

3 事業内容

事業体系図



(1) 公益目的事業 1 [文化芸術事業]

文化芸術振興及び市民交流活性化事業の実施、並びに文化施設を管理運営する事業

地域の文化活動の拠点施設である日立シビックセンター、日立・多賀市民会館を中心に、文化芸術を鑑賞、体験する機会の提供、文化芸術を通じた市民との協働、交流促進を図ることにより、市民の豊かな人間性を涵養し、地域の文化芸術の振興、交流人口の拡大等、地域の健全な発展に寄与すべく事業を実施します。

ア 鑑賞・体験事業

施策 市民が文化芸術に触れ、感動・発見を得る機会の提供

多様なニーズに応じたクラシックやポップスなどのコンサート、古典芸能などの舞台公演、アート展示会、ワークショップ等、バランスの取れた鑑賞・体験事業を展開します。また、子どもたちに優れた文化芸術に触れる機会を提供するため、ワークショップやアウトリーチ等の体験型プログラムを実施します。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
日立シビックセンター		
親子で打楽器体験	4月	
はじめてみよう弦楽器	5月～3月	
東京フィルハーモニー交響楽団演奏会	6月	
ひたち納涼寄席	8月	
ワンコイン・コンサート	8月・2月	
#CivicFirstNote	9月	
音のまちコンサート	11月	
ひたち市民オペラ 30周年記念公演 ニューイヤーオペラコンサート	1月	周年事業
Civic Gallery 企画展	2月	
トリオ・リベルタコンサート	2月	
バギーコンサート	通年	
主催コンサート	調整中	
アウトリーチ（音楽、能）	通年	
郷土芸能育成事業	通年	
大人向けシビックサロン	通年	
子ども向けシビックサロン	通年	
日立市民会館		
特撰落語会三遊亭小遊三・桂宮治二人会	4月	
青木隆治コンサート	5月	
DRUM TAO 公演	10月	
はじめての劇場体験	11月	
劇団飛行船マスクプレイミュージカル	12月	
林部智史コンサート	1月	

事業名	時期	備考
日立市民会館		
主催コンサート	調整中	
華原朋美コンサート（予定）	調整中	
ファミリーコンサート（予定）	調整中	
MONGOL800 コンサート（予定）	調整中	
多賀市民会館		
かどや寄席	6月	
多賀市民会館開館20周年記念 公演	調整中	周年事業
多賀市民会館開館20周年記念 コンサート	調整中	周年事業
文化サロン	調整中	
演劇アウトリーチ	調整中	

イ 連携・協働、支援事業

施策 文化芸術活動に取り組む団体や人材との連携・協働と支援

財団が市内で活躍する市民や団体と連携・協働することで、よりよい文化芸術を創造する事業を実施します。また、部活動の地域展開に伴い、市と連携し、市内中学生が文化芸術活動を行う場を提供します。

市にゆかりのある人材を応援し、地元への愛着を持つアーティストの育成につなげるため、活動・発表できる場を提供します。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
日立シビックセンター		
レッツプラス in パティオ	5月	
大人のためのダンスワークショップ	6月～11月	
ひたち国際文化まつり	10月	
（仮称）日立市ミュージッククラブ	10月～3月	
ニコ・カーニバル	12月	
ミュージックトレイン	1月	
ひたちジュニア弦楽合奏団	通年	
ひたち市民オペラによるまちづくりの会	通年	
市民のための能を知る会実行委員会	通年	
シビック・エントランスピアノ	通年	
日立市文化協会事務局	通年	
日立市文化少年団事務局	通年	
ひたちとアジアの文化交流をすすめる会	通年	周年事業
日立市民会館		
ひたち BigBand フェスティバル	5月	
日立市少年少女合唱団	通年	
多賀市民会館		
ひたち街角小劇場	通年	周年事業
ミニピッピコンサート	調整中	

ウ 交流・賑わい創出事業

施策 文化芸術や施設の活用を通じた交流と賑わい促進

日常的な市民交流やまちの賑わいを創出するため、屋外を会場とする大規模事業を引き続き実施するとともに、施設を活用し、幅広い層に受け入れられるイベントや体験プログラム等の誘致を行います。また、大型商業施設「ヒタチエ」と連携し、日立駅前地区の賑わいづくりに努めます。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
日立シビックセンター		
ひたち国際大道芸 2026	5月	JR日立駅前、常陸多賀駅前
ひたち秋祭り	10月	
ヒタチスターライトイルミネーション 2026	11月～1月	
新都市広場冬季活用事業	11月～1月	
管理施設賑わい創出事業	通年	
多賀市民会館		
多賀市民プラザ広場活用事業	7月～8月	

(2) 公益目的事業 2 [科学事業]

科学思想の啓発及び普及事業の実施、並びに科学施設を管理運営する事業

科学館・天球劇場の管理運営に併せ、科学・天文に関する各種事業を展開することにより、科学的な思想の啓発・普及や活動支援を図ります。

特に、科学館サクリエにおいては、「遊びながら学ぶ」をテーマに、来館者が遊びや体験を通して発見した疑問や成果を持ち帰り、生活の中で科学を意識するきっかけを提供する施設をめざすとともに、科学体験を通して学ぶことのできる企画を提供します。

ア 展示・体験事業

施策 科学を通じた創造力を育む展示・体験の機会の提供

常設展示・プラネタリウム上映、スタッフとの交流やサイエンスショーの実演等を通して、科学の楽しさが提供できる施設運営を行います。また、参加者の記憶に残る体験を幅広い世代に提供するため、実体験を通じた魅力的なイベントを企画・実施します。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
日立シビックセンター		
声優星空朗読会（天文啓発・普及事業）	6月	
夏の特別イベント	7月～8月	
冬の特別イベント	11月～1月	
サクリエ・サイエンス・フェスティバル	3月	
サイエンスショー	通年	5周年イベント含む
特別イベント「ミニ企画展示」	通年	
ひらめき工作	通年	
科学体験事業	通年	
宇宙少年団	通年	周年事業
アウトリーチ	通年	
天球劇場星空解説	通年	
天球劇場番組上映	通年	
天球劇場特別上映	通年	アロマプラネタリウム ほか
観望会	通年	
星空解説	通年	

イ 連携・協働、支援事業

施策 科学活動に取り組む市民や団体への支援及び協働による事業実施

より多様な分野を来館者に提供するために、新たな団体との連携を進めるとともに、科学館を地域の情報発信拠点とします。科学・天文における、より幅広い分野に関わるボランティアを確保するため、効果的な募集方法を検討・実施します。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
日立シビックセンター		
青少年のための科学の祭典	11月	
団体連携	通年	
ボランティア活動事業	通年	

(3) 公益目的事業 1・2 [施設管理運営事業]

公共施設の管理運営事業

日立シビックセンター（科学館を含む）及び日立・多賀市民会館の指定管理者として、利用者が安全で安心して利用できるための環境を整備するとともに、利用者の多様なニーズに対応したサービスを提供することで、施設利用にかかる利便性の向上に努めます。

また、3つの管理施設を軸とした中心市街地における更なる交流と賑わいの創出を図ります。

ア 施設管理運営事業

施策

安全・安心で、気軽に快適な利用ができる施設環境と運営体制の整備
災害・感染症等のアクシデントへの対応

市民が安全・安心に利用できるよう、管理施設を適正に維持・管理します。あわせて、施設の経年劣化や展示物等の入替等に対応するため、日立市と連携して計画的な改修・更新・修繕を行うとともに、利用者の要望に合わせた施設の改修等も行います。

また、火災や自然災害を想定した防災訓練を定期的実施し、職員の危機管理意識を向上させます。

イ 施設利用者及び入館者増加促進事業

① 文化施設

施策

柔軟な対応とサービス等の提供による利用者増加の促進

施設利用コーディネーターによる、利用者の多様な要望に対応したサービスを提供します。あわせて、施設の魅力向上に向けた、設備の美化を行います。

また、多様な要望に対応するため、先進的な取組を実施している他館の利用者サービス等を積極的に取り入れ、新たなサービスを開発・提供するとともに、施設使用料の Web 決済の導入等に向けた準備を進めます。

② 科学施設

施策

個人・団体の入館者増加の促進

夏休み期間において、人気キャラクターのプラネタリウム番組の上映や、子どもに限定した無料クーポンの発行を行います。

小学校等の遠足に加え、児童クラブや福祉施設等の利用も増えていることから、より多くの団体の利用を促進します。団体予約については、インターネット上での受付ができる仕組みを整備します。

広報強化のため、広報物の配布範囲を県外にも拡大します。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
日立シビックセンター		
日立シビックセンター管理運営事業 (新都市広場、マーブルホールを含む)	通年	
アトリウム装飾	通年	
夏期親水	7～9月	
科学館管理運営事業 (天球劇場を含む)	通年	
入館促進	通年	
日立市民会館		
日立市民会館管理運営事業	通年	
多賀市民会館		
多賀市民会館管理運営事業	通年	

(4) 公益目的事業 1 [情報発信・広報] (文化芸術・科学共通)

財団の情報発信・広報に関する事業

ホームページをはじめ、SNS など多様な媒体を最大限に活用し、分かりやすく、効果的な情報発信に努めるなど広報の強化を図ります。

インターネットチケット販売管理システムの運用を軌道に乗せ、顧客サービスの向上を図るとともに、チケット管理業務の更なる効率化を進めます。

ア 情報発信・広報

施策 様々な手法による事業と施設の情報発信

ターゲットに応じた広報媒体を効果的に活用して、情報発信を行います。その際、ステークホルダーの目に留まるような発信内容にするとともに、発信方法を工夫します。

ホームページや SNS を積極的に活用して、広域的広報を強化します。あわせて、財団の認知度やイメージの向上、チケットの販売促進につながるような、戦略的な広報を行います。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
夏のひみつ基地	7月～8月	
カレンダー「ふるさと日立」	11月	
定期発行物「ひたちの文化」	通年	年3回発行
定期発行物「イベントインフォメーション」	通年	年間スケジュール広報紙含む
広報・宣伝	通年	
Webサイト運用	通年	
シビックメンバーズ	通年	
インターネットチケット販売管理システム	通年	
企画調査	通年	

(5) 収益事業

公共施設に付帯する売店等の管理運営事業

来館者の思い出に残る商品の販売等を通して、施設利用のみにとどまらない楽しみを提供します。

チケット販売事業においては、自主企画事業のチケットだけではなく、受託チケットを販売することで、他館のイベントチケットを購入できるなど利便性を向上させます。

採算性を向上することで得た収益を、事業財源として活用します。

ア 収益事業

施策 施設利用者に対しての付加価値の提供による財源の確保

ミュージアムショップにおいては、来館者が興味を持つ商品構成を基本として安定的な経営に努めます。

イベントと連携した販売戦略の構築、ニーズに応じた商品の調査・販売やオリジナルグッズの開発・販売をすることで、収益増を図ります。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
日立シビックセンター、日立・多賀市民会館		
受託チケット販売事業	通年	
日立シビックセンター		
館内売店運営事業	通年	ミュージアムショップ

(6) その他の事業

公共施設の公益目的外貸与事業及び併設施設の管理経費負担に関する事業

ア 公益目的事業1及び公益目的事業2に当てはまらない公共施設の公益目的外への貸与事業

管理施設の有効活用のため、企業の展示販売会等の公益目的以外の利用についても、積極的に施設の貸与を行い、利用率の向上を図ります。

イ 他の併設施設の専用部分、共用部分に係る清掃及び設備機器の維持管理経費の負担に関する事業

併設施設に係る維持管理経費（光熱水費を除く）について、当財団が業者と一括して契約し、面積及び設備按分により応分の費用負担とします。

【事業一覧】

事業名	時期	備考
公益目的外貸与	通年	
併設施設管理運営負担金に関する事業	通年	

(7) 財団運営

財団の運営に関する事業

新しい財団基本計画に基づき、各種事業を展開します。

また、指定管理期間の初年度となるに当たり、指定管理者として、施設の設置目的の達成等を再確認し、その責務を果たします。

組織運営に当たっては、デジタル技術の導入や組織体制の再編を通じて、日常業務の効率化を図るとともに、業務効率化によって生み出された時間を活用し、職員のスキル向上、創造的な企画立案の促進、ワークライフバランスの確保を実現します。

あわせて、人材育成に当たっては、人材育成計画で定めた行動計画を遂行し、管理監督者のマネジメント力の強化と全職員の意識改革を推進するとともに、広い視野と柔軟な思考力等を得られるような機会を提供し、職員の自己啓発につなげます。

将来にわたる健全な財務運営の確保に向け、チケット等の販売促進や新たな財源の獲得につながる仕組みを構築します。